



セキュリティ対策支援をパッケージ化した中小企業向けサイバー保険の提供開始 ～複数のセキュリティベンダとの協業により、セキュリティ対策向上を支援～

2021年7月29日

MS & ADインシュアランス グループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(代表取締役社長：金杉 恭三)は、複数のセキュリティベンダ^{※1}との協業のもと、サイバー攻撃の未然防止に必要な「サイバーリスク評価」および「セキュリティサービスの導入支援」をパッケージ化した、中小企業向けサイバー保険^{※2}の提供を2021年10月より開始します。

※1 セキュリティ製品・サービスを提供・販売する企業

※2 当社商品名「サイバーセキュリティ保険」

1. 背景・主旨等

近年、サイバー攻撃は高度化・複雑化しており、特にこの1、2年ではランサムウェアへの感染、テレワーク利用のためのサービスを狙った攻撃が拡大し、大企業に限らず中小企業においてもその被害が増加しています。

一方、中小企業においては、対策の必要性は感じているものの、具体的対策を把握できていない、人員・費用・時間上の制約がある等を理由として、サイバー攻撃を防ぐための各種対策の導入が十分に進んでいない現状があります。

これまで当社では、サイバー攻撃発生後のソリューションとして、対応・復旧・再発防止にかかる費用などを補償するサイバー保険および未然防止・損害の極小化・迅速な回復に資する各種サービスを提供してきましたが、今般、中小企業のセキュリティ対策向上の一助として、複数のセキュリティベンダと協業することで、より網羅的な対策を実現するパッケージ型のサイバー保険を提供します。

2. 商品概要

(1) 商品概要

サイバー保険の提案に際して「サイバーリスク評価」(セキュリティベンダが作成するレポートの提供、対策のアドバイス等)を実施し、お客さまの現状を踏まえたうえで、サイバー攻撃を防ぐための「セキュリティサービスの導入支援」(セキュリティベンダのご紹介)を行います。

また、この導入支援の一環として、サービス提供にあたっては価格メリット等を付加し、より多くのお客さまに導入しやすい環境を提供します。

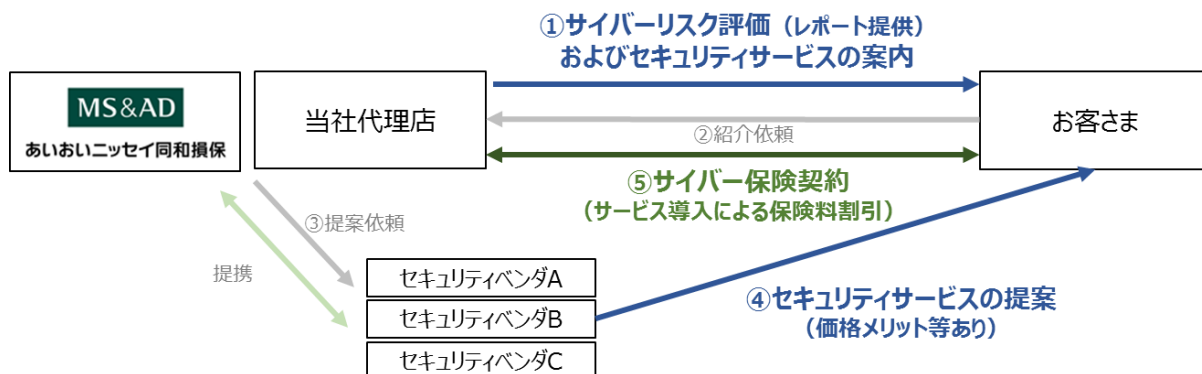
さらに、サービス導入の結果、セキュリティ対策が強化されることにより、サイバー保険自体の保険料を割引くことも可能となり、サイバー攻撃の対策に必要なセキュリティ環境の構築と、合理的な保険料でのサイバー保険への加入が実現します。

【イメージ】



(2) スキーム概要

多くの中小企業と接点を持つ当社代理店が、事故が起きた後の補償だけでなく、事故を未然に防ぐセキュリティサービスも提案することで、幅広いお客さまをワンストップでサポートすることが可能となります。



(3) セキュリティサービスのラインアップ

現時点で提供を予定しているサービス（提供事業者）は次のとおりです。今後も継続的なサービス拡充を行う予定です。

対策の分類	事業者	内容
①ルール作り・従業員教育	プロフェッショナル・ネットワーク・コンサルティング	既存ルールにつきインタビュー・文書精査により改善策等をコンサルティング
②端末対策 ③出入口対策	コニカミノルタジャパン	従業員端末等への次世代型ウイルス対策ソフトの導入 UTM（出入口対策の基本的な機器）の導入
④ウェブサイト対策	セキュアスカイ・テクノロジー	ECサイト・会員サイト等を攻撃から守るためのセキュリティ対策であるWAF（ウェブアプリケーションファイアウォール）などの導入

3. 今後の展開

当社は、今後も高度・複雑化するサイバーリスクをはじめとした未知のリスクにも対応していきます。また、「CSV×DX」（シーエスバイ バイ ディーエックス）のキーワードのもと、お客さま・地域・社会とともにリスクを削減し、社会課題解決に資する商品・サービスのラインナップを拡充し、「レジリエントでサステナブルな社会」の実現に向けて取り組んでいきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



当社は、「特色ある個性豊かな会社の確立」を掲げ、行動指針である「地域密着」を追求するとともに、お客さま・地域・社会とともにリスクを削減し、社会課題解決に資する商品・サービスをご提供しております。この考え方・コンセプトを「CSV×DX」（シーエスバイ バイ ディーエックス）というキーワードのもと展開し、幅広い商品・サービスで実現していきます。

